

奄美海上保安部便り 第72号

- ・第72号は2024年6月から2024年8月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



巡視船あまぎ一般公開 in 徳之島

6月22日、徳之島天城町平土野港において、9年ぶりに巡視船「あまぎ」の一般公開を実施しました。

船内見学、制服試着等を楽しんでいただくとともに、船内にて天城町長への業務説明等も実施しました。



天城町長への業務説明等



<一般公開中のトピックス>

2018年6月、出産時に「巡視船あまぎ」にて急患輸送したご家族が訪ねてきてくれました！

“” 元気に成長したお子様の姿に感動！ “”

～ 読者アンケート依頼 ～

皆様のご意見を取り入れてより良い業務を心掛けて参りますので一人でも多くの方のご回答をよろしく御願い申し上げます。



お問い合わせ先 奄美海上保安部 管理課
TEL 0997-52-5811

スマートフォンでQRコードを読み込んでアンケートスタート

令和6年「海の日」海事功労者への表彰

令和6年「海の日」にあわせて、7月22日、巡視船「あまぎ」の船上において、多年にわたり海上保安業務に貢献していただいた皆様に対して、奄美海上保安部長から感謝状の伝達及び贈呈を行いました。

奄美海上保安部管内の表彰者は次のとおりです。



◇国土交通大臣表彰

龍郷町立 円小学校 様

円海岸において、多年にわたり清掃活動を行い海岸の環境美化に貢献されました

◇海上保安庁長官表彰

福島 英二 様

海上安全指導員として、多年にわたりプレジャーボート等の安全思想の普及や海難の未然防止等に尽力されました

◇第十管区海上保安本部長表彰

米盛 弘幸 様

武田 哲雄 様 (別日に伝達)

海上防犯連絡員及び海上保安協力員として、多年にわたり海上防犯に関する啓発活動や海洋環境の保全に尽力されました

◇奄美海上保安部長表彰

元山 公知 様 (別日に伝達)

柳沢 良裕 様

重岡 美津子 様 (別日に伝達)

沖 忠弘 様 (別日に伝達)

柳 茂樹 様 (別日に伝達)

海上保安協会役員として多年にわたり海上保安思想の普及事業などを推進し、海上保安業務の発展に尽力されました

海上保安協力員として、多年にわたり海上防犯に関する啓発活動や海洋環境の保全に尽力されました

令和6年度奄美地区スキューバダイビング安全対策協議会会員との合同潜水訓練

6月13日、名瀬港において、ダイビング事故防止及び救助活動に関する知識・技術の向上並びに当庁業務への理解促進を目的として、「奄美群島地区スキューバダイビング安全対策協議会」会員13名と巡視艇「いそなみ」潜水士による合同潜水訓練を8年ぶりに開催しました。



溺水者救助訓練



搜索訓練

合同労働安全衛生大会で海難防止講習会

6月13日、奄美建設会館で開催された合同労働安全衛生大会（参加企業：村上建設(株)等）において、交通課職員による海難防止講習を行いました。

受講者約50名に対し、工事作業船の事故事例等を説明し、安全意識と安全対策の徹底を呼びかけました。



名瀬港台風津波等対策委員会

6月20日、奄美海上保安部において、17の関係機関による名瀬港台風津波等対策委員会を開催し、台風発生時の対応の再確認及び意見交換等を行いました。

また、名瀬測候所の地域防災官による「地震や津波に備える」と題して地震津波対策に関する貴重な講話が行われました。



名瀬測候所地域防災官による講和

令和6年度「海上安全指導員」連絡会

7月2日、奄美海上保安部において、「海上安全指導員連絡会」を開催し、今年度の海難防止の取組み、最近の奄美のマリンレジャー客の状況等について意見交換を行いました。



<海上安全指導員とは>

海上保安庁では昭和49年から、安全なマリンレジャーを推進するため、安全航行に関する周知・啓発活動を自主的に実施している民間の方々をマリンレジャーのリーダーとして位置づけ、管区海上保安本部長が「海上安全指導員」として指名し、海上における安全航行に関するマナー周知、当該海域の各種情報の提供等の安全活動を行っていただいています。

奄美海上保安部管内でも民間有志の8人が「海上安全指導員」に指名され、プレジャーボートの安全指導をメインに、マリンレジャーのリーダーとして奄美の海で活躍しています。



夏休みを前に各地で水上安全教室等を開催

◇ 加計呂麻島で水上安全教室

6月12日、古仁屋保安署及び巡視艇「いそなみ」職員により、瀬戸内町立諸鈍小中学校にて水上安全教室（児童19名）を行いました。



AED 使用法の講習



大雨のため体育館での救命胴衣着用体験

◇ 与路島で海浜清掃及び水上安全教室

6月29日、古仁屋保安署及び巡視艇「いそなみ」職員により、瀬戸内町立与路小中学校（児童6名）に対し、海洋環境教室、与路浜の海浜清掃及び水上安全教室を行うとともに巡視艇「いそなみ」の見学会も行いました。



水上安全教室模様（ペットボトルを使った浮力体験）



与路浜海浜清掃



放水体験（水圧を4分の1程度にて実施）

◇ 名瀬小学校附属幼稚園で環境教室

7月10日、奄美保安部警備救難課及び交通課職員により、奄美市立名瀬小学校附属幼稚園において、海洋環境保全の大切さを学ぶための環境教室を行いました。



◇ 少年自然の家主催「マリンフェスタ」で水上安全教室

7月6日、奄美市朝仁海岸において、県立奄美少年自然の家主催の「マリンフェスタ」が開催され、奄美保安部交通課職員も参加し、幼児～大人の参加者（91名）に対して水上安全教室を実施しました。



親子で海上安全教室



◇ 宇検村地区水上安全教室

7月12日、古仁屋保安署及び巡視艇「いそなみ」職員により、宇検村国民体育館及びプール（児童19名、保護者及び教職員12名）において、水上安全教室を実施しました。



ペットボトルを使つての救助体験

◇ 篠川小中学校水上安全教室

7月13日、古仁屋保安署及び巡視艇「いそなみ」職員により、白浜海岸において、篠川小中学校（児童6名、教職員4名）に対し、水上安全教室を実施しました。



◇古仁屋小学校水上安全教室

7月17日、古仁屋保安署及び巡視艇「いそなみ」職員により、瀬戸内町立古仁屋小学校（4・5・6年児童合計121名、教職員6名）において、水上安全教室を実施しました。



身近なものを使って浮く体験

◇大和中学校水上安全教室

7月17日、奄美保安部警備救難課及び交通課職員により、大和中学校（生徒26名）において、水上安全教室を実施しました。



◇放課後等デイサービス「聖隷かがやき」児童への水上安全・環境教室

7月27日、奄美保安部警備救難課及び交通課職員により、龍郷町の社会福祉法人「聖隷かがやき」（児童14名、保護者及び職員17名）において、水上安全・環境教室を実施しました。



◇関西からの中学生に対する海上安全指導員との水上安全教室

8月1日、奄美保安部交通課職員及びマリンレジャーガイドとして活躍している海上安全指導員の南口氏とともに、赤尾木海岸において、関西から来島した中学生（女子サッカーチーム）に対して、水上安全教室を実施しました。



✚ 奄美シーカヤックマラソン IN 加計呂麻大会海上警戒

7月7日、32回目を迎える「奄美シーカヤックマラソン IN 加計呂麻大会」が開催され、計232艇（363名）が参加し、古仁屋保安署巡視艇「いそなみ」及びSS艇「ばるさあ」「ばるさあ」により海上警戒を実施しました。大会は負傷者等もなく終了しました。



✚ 夏本番、目指せ「海の事故ゼロ」海難防止活動状況

7月13日、海の事故ゼロキャンペーン（7/16～8/31）及び夏季安全推進期間（7月15日～8月31日）にあわせ、警察、消防及び海保3機関合同で、奄美空港及び各ビーチにおいて海難防止活動を行い、「海の事故ゼロ」を呼びかけました。



✚ 夏季のターミナル警戒

旅行者や帰省客等が増加する8月13日～15日、名瀬港フェリーターミナルにおいて警戒を実施し、運航会社等による自主警備の重要性等について呼び掛けました。



夏季の安全推進活動

◇ 8月14日、焼内湾内のビーチ、マリンショップ等において、啓発活動を行いました。



◇ 8月21日、奄美市用安海岸において、海水浴客、マリンアクティビティ事業者に対して「子供の遊泳中の事故防止」、「ルールと安全の遵守」について啓発活動を行いました。



鹿児島地方検察庁名瀬支部職員へ海上保安業務概要説明

8月5日、関係機関との相互理解の促進と円滑な業務運営を目的として、鹿児島地方検察庁名瀬支部長ほか5名の皆様に当部の業務説明会を行いました。



奄美市商店街夏祭り

8月10日に開催された「奄美市商店街夏祭り」において、奄美海上保安部ブースを出展しました。猛暑のなか、300名を超える市民の皆様方に訪問していただきました。



第 44 回瀬戸内町みなと祭り警戒

8月11日、古仁屋港において「第44回瀬戸内町みなと祭り」が開催され、海上イベント「漁船によるカツオの模擬釣り」、「舟こぎ競争(出場95チーム)」、「花火大会」において、陸上及び巡視艇「いそなみ」による警戒を行いました。



レンタカー会社協力による観光客への海難防止啓発活動

昨年から観光者によるマリンレジャー中の人身事故が多発しているため、7月下旬から各レンタカー会社の協力のもと、島内約2000台のレンタカーの車内に「奄美の海で楽しく遊ぶためのお約束シール」(奄美高校デザイン協力)を貼付け、観光者による海の事故がゼロとなるように啓発活動を展開しています。



海難防止活動用グッズのデザイン作成大学生への感謝状贈呈及び海難防止活動

奄美海上保安部では、8月から奄美出身大学生3名(大島高校令和4年度卒業の上野さん、伊藤さん、松下さん)のデザインによる海難防止啓発用グッズ(ポスター、クリアファイル、うちわ)を制作して啓発活動を行っています。

3名は昨年奄美管内で多数発生した観光客によるマリンレジャー事故に対して、「自分達に出来ることはないだろうか」と保安部に相談、その後打合せを重ね、故郷の海の事故ゼロを願い、海難防止のデザインを作成したものです。

保安部では、8月23日に、この3名に対して感謝状を贈呈するとともに、グッズ制作に協力いただいた海上保安協会奄美支部長(奄美市長)へ活動報告を行いました。

また、同日午後から、グッズを用い倉崎海岸において啓発活動も実施しました。



保安部長から感謝状贈呈



海上保安協会奄美支部長（奄美市長）へ報告



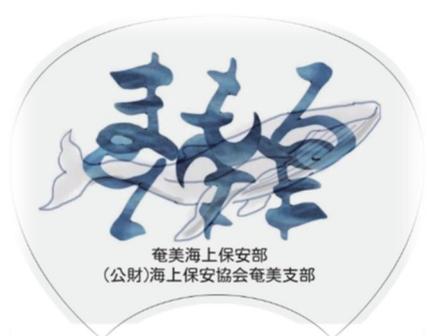
倉崎海岸で海難防止活動を実施しました



<新規デザイングッズ>
ホスター

クリアファイル

うちわ（表）



（うちわ裏）



奄美ケーブルテレビに生出演

6月21日、奄美ケーブルテレビに交通課職員2名が1時間生出演し、「台風海難防止」、「釣り中の事故防止」、「スノーケリング中の事故防止」について呼びかけを行いました。



あまみエフエム（77.7MHz）に生出演

- ◇ 6月6日、警備救難課と交通課職員があまみエフエムに生出演し、「海のごみ問題と未来に残そう青い海図画コンクール」及び「台風海難防止対策」について、呼び掛けを行いました。



- ◇ 7月4日、管理課と交通課職員があまみエフエムに生出演し、「海上保安官募集」と7月16日～31日「海の事故ゼロキャンペーン」について、呼び掛けを行いました。

- ◇ 8月1日、管理課職員があまみエフエムに生出演し、海上保安大学校（本科）の学生募集について、呼び掛けを行いました。



海難の発生状況

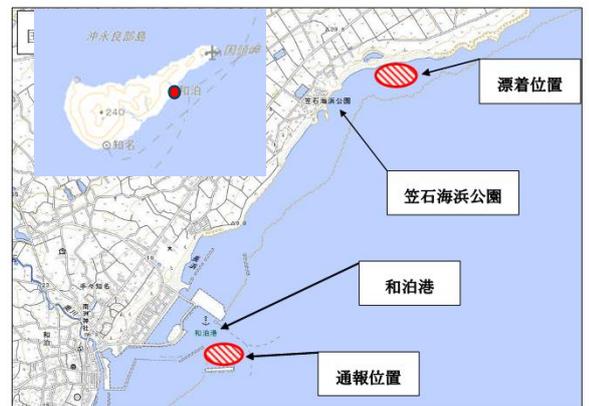
6月から8月にかけて、奄美管内では船舶事故6隻（うち台風によるもの3隻）、船内での負傷事故1人、マリンレジャー中の事故が5人発生しました。

◇和泊港でミニボートが機関故障し漂流

6月23日、和泊港沖防波堤付近にて魚釣りをしていた2人乗りミニボート（2馬力）から、1614船外機が起動しないとの118番による救助要請がありました。

その後、2人は1750頃、オールを使用し和泊町所在の笠石海浜公園から北に約400メートルの陸岸に自力で上陸し、消防により安全が確認されました。

事故者のうち1人は体調不良で、徳洲会病院に救急搬送されました。



ミニボートとは船体の長さが3m未満で、かつ、推進器の出力が1.5kw（2.039馬力）未満の船舶です。小型船舶免許や検査が必要ありませんが、ひとたび海に出れば、他の船舶と同じように海上の交通ルールが適用されます。

特徴として、ミニボートは幅が狭く、長さが短いなど不安定な構造で、転覆しやすい、他の船舶から見えづらく衝突されやすい、などの危険が多くあります。

安全な海域での運行を心がけるとともに、安全に航行できる波の範囲は、乾舷の高さ（水面から船縁までの高さ）の半分以下である波高20cmくらいまで、海上の風速は4m/s以下での運行をお願いします。これを超えている海況の場合は、非常に危険ですので出航は控えてください。

また、運行前には必ず天気予報を十分に確認し安全な条件下での運行をお願いします。

◇遠泳大会で溺水事故（56 歳男性、死亡）

6月30日0900頃、知根小学校PTAが主催する遠泳大会中に、子供たちと一緒に泳いでいた男性（56歳）の意識が無くなり、伴走していた水上バイクで救助され根瀬部海岸まで搬送されました。

心肺蘇生を施しつつ、ドクターヘリで鹿児島県立大島病院に搬送されましたが、1415医師により死亡が確認されました。

◇根瀬部沖小型漁船乗組員右手薬指切断事故（53 歳男性）

7月2日1440頃、漁船（1.77ト、6m、2人乗り）が根瀬部沖で素潜り漁のため、男性（53歳）が船からバックロールにて入水する際、右手薬指が船体構造物に挟まった状態となり、自重により薬指第二関節を切断する事故が発生しました。

事故者は、救急車により県立大島病院へ搬送されました。



◇ 徳之島天城町与名間ビーチ溺水事故（5 歳女兒）

7月14日1354頃、天城町与名間ビーチの波打ち際で、親子4人（両親、子供5歳女兒、1歳男児）で遊んでいた5歳女兒が、両親が目を離した隙に見失い、周囲を探したところ顔を上げた状態で浮いており、父親によって引き上げられました。

意識が無い状況でしたが、現場に居合わせた消防職員により心肺蘇生が施されて意識が回復し、救急車にて徳洲会病院に搬送され、その後、ドクターヘリにて大島病院に搬送されました。



◇ 徳之島手々海浜公園ダイビング中の事故（56 歳女性、死亡）

7月14日1715頃、徳之島町手々海浜公園にて、息子と2人でダイビング講習を受講していた女性（56歳）が、インストラクターと浮上した際に体調不良を訴え、意識を失いました。

インストラクターに救助され、意識不明のまま1746救急車にて徳洲会病院に搬送されましたが、1907医師により死亡が確認されました。



◇ 奄美市笠利町赤木名沖座礁船

7月30日0720頃、笠利町赤木名港向け航行中の貨物船（5人乗り、748トン、83m）が水路を誤り同港沖の浅瀬に乗揚げました。

同船は1135頃、自力で離礁し、赤木名港前肥田地区岸壁に着岸しました。

乗組員に怪我等無し、浸水、油の流出なし。



◇ 笠利町和野沖リーフ上で転倒し左膝を負傷

8月4日 1130 頃、事故者（38 歳男性）は、友人、子供とともに磯遊びをするため、和野漁港沖リーフ上を片方の手にクーラーボックスを持った状態で歩いていたら、足を滑らせ転倒し、左膝と左腕を打ち、当初、痛みはそれほどなく、通常の歩行ができていましたが、目的地到着後しばらくして左膝に腫れ痛みが強くなり歩行困難となったことから、1246 に友人が118 番通報し救助を求めたものです。1349 救急車に揚収され県立大島病院へ搬送されました。



◇ 徳之島秋利神漁港で 71 歳男性行方不明

8月17日、徳之島秋利神漁港に天城町在住 71 歳男性が所有する軽トラックに鍵が付けられたまま発見され、荷台には所有者男性の衣服、携帯電話が残されたまま、男性は行方不明となっています。奄美保安部、古仁屋保安署の巡視船艇及び警察にて海上、陸上の捜索を行いました但现在も行方不明です。

◇ 徳之島畦プリンスビーチで溺水事故（6 歳女児）

8月17日家族・親戚 7 人で海水浴中、1115 頃、母親が波打ち際で遊んでいた 3 歳の子供の面倒で 5 分ほど目を離したすきに、付近で遊んでいた 6 歳女子がうつ伏せで動かず浮いているのを海水浴客が確認しました。

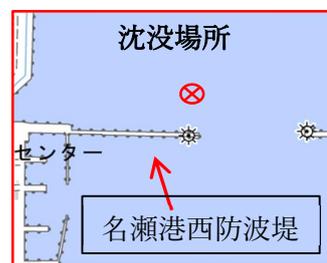
6 歳女子は、当初心肺停止の状態、心配蘇生を開始して約 2 分後に嘔吐し、約 5 分後に脈と呼吸の再開が確認され、その後、到着した救急隊に引き継がれ、徳之島徳洲会病院に搬送後、ドクターヘリで県立大島病院へ搬送されました。



◇ 台風 10 号による船舶の事故（3 隻）

台風 10 号接近により 8 月 27 日から 28 日にかけて喜界島、奄美大島は暴風域に入り、喜界島の湾港及び小野津漁港に係留中の漁船 2 隻が転覆しました。

また、名瀬港では、船だまりに係留中のクルーザー（11.19m、13 トン）の係留策が切れ、浸水し漂流のうえ名瀬港西防波堤沖で沈没する事故が発生しました。



名瀬港漂流中のクルーザー

◇ 沖永良部島和泊漁港沖漁船座礁

8月30日 0340 頃、和泊漁港を出港した 2 人乗り漁船が同港沖の浅瀬に乗り上げました。僚船に助けをもとめ流出防止措置を行った後に潮が引き、船体が傾斜し横倒しになりました。

その後満潮に合わせて離礁作業を行い、その後陸揚げされました。

機関部に破孔、浸水、油流出有（防除作業済）



果揚げの状況

急患輸送（2件、3人）

◇韓国籍タンカー乗組員の急患輸送

6月6日午後12時10分頃、韓国籍タンカーから「乗組員が奄美大島東約90マイルで左半身に火傷したので救助を願う」旨の要請があり、荒天で当庁及び自衛隊の航空機が飛行不可のため、巡視艇「いそなみ」潜水士2名及び警備救難課職員1名を巡視船「かいもん」に上乗せさせ出動、2320頃、笠利湾北部海域にて傷病者を「かいもん」に移乗、7日0027頃、名瀬港にて消防隊に引渡しを完了、県立大島病院へ搬送されました。



6月7日午前0時27分頃 名瀬港にて救急隊へ引き継ぐ様子

◇喜界島から2名の急患輸送

鹿児島県から、7月26日0814、天候不良でドクターヘリが運航できないことから、喜界島で急性心筋梗塞を発症した男性（75歳）及び下部消化管出血を発症した男性（新型コロナウイルス感染症、72歳）の急患輸送の要請がありました。

巡視船「あまぎ」を喜界島に急行させ、湾港において同日1355、患者を大島地区消防組合喜界消防分署から引継ぎました。

巡視船「あまぎ」には患者とともに喜界徳洲会病院の医師、看護師も同行され、奄美市名瀬港に入港後、1705患者を救急車に引継ぎ、県立大島病院へ搬送されました。



1355 湾港にて救急隊から巡視船「あまぎ」に引継ぎ



1700 名瀬港にて救急隊へ引継ぎ



奄美海上保安部・古仁屋保安署創設 70 周年を迎えて

本年 9 月、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署は創設 70 年を迎えます。

奄美群島が日本復帰して間もない昭和 29 年 9 月 10 日、鹿児島海上保安部名瀬・古仁屋警備救難所として開設してから今日まで、幾多の苦難を乗り越え、変革を重ねて 70 年間、奄美群島とその周辺海域において、地域の皆様方の安全安心のために海上保安業務を遂行してまいりました。

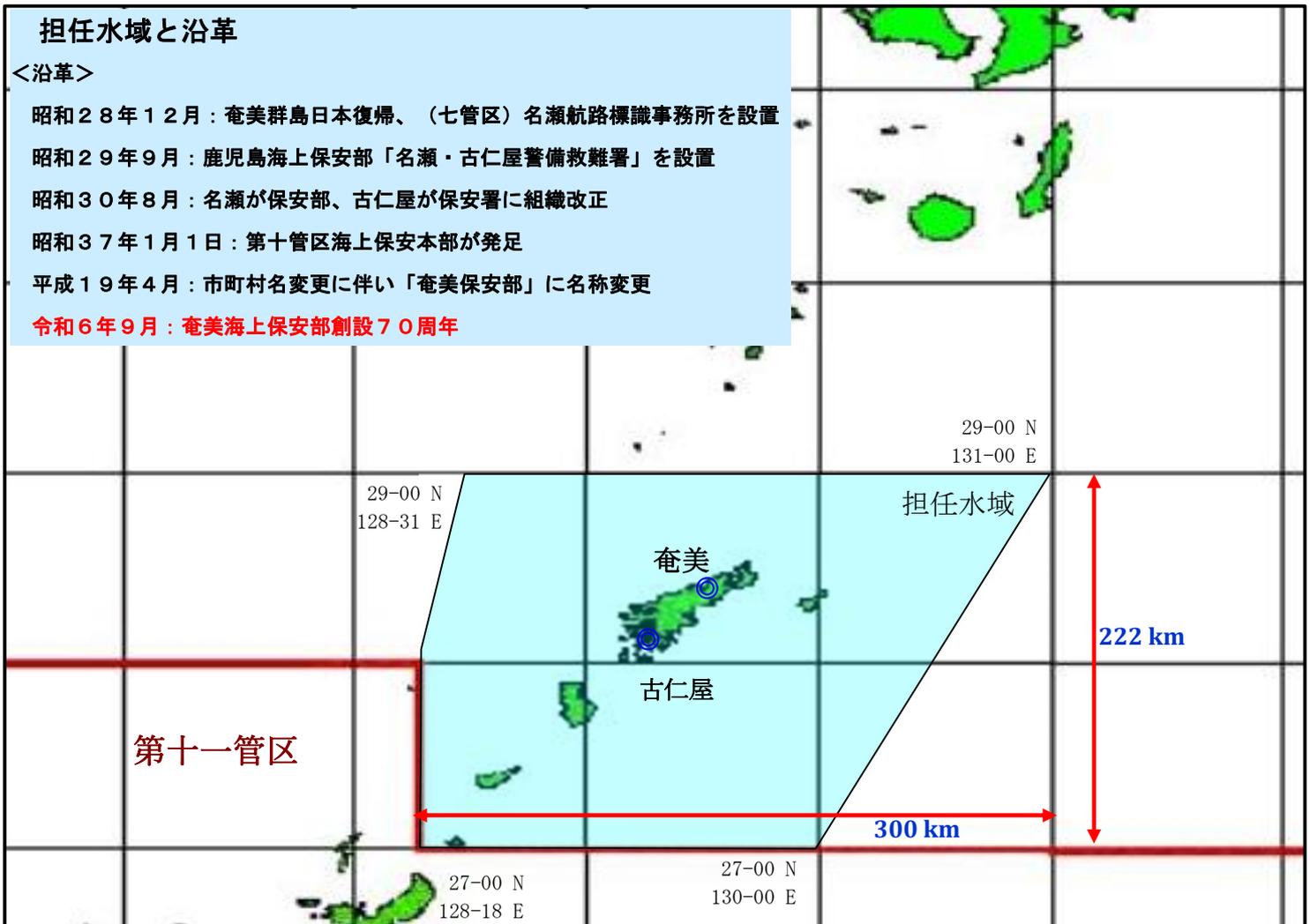
この 70 年間、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署が滞りなく業務を遂行できておりますのは、海上保安協会奄美支部・奄美瀬戸内支部の各会員、海上保安協力員、海上安全指導員、灯台の灯火監視協力員並びに奄美群島住民の皆様方の、海上保安業務への御理解と御協力の賜物と深く感謝いたしております。



近年、我が国周辺海域における情勢は厳しさを増しておりますが、今後とも、奄美群島とその周辺海域の安全安心のため、職員一同、全力で取り組む所存ですので、引き続き海上保安業務への御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

令和 6 年 9 月 吉日

奄美海上保安部長 大場 伊佐大



ライフジャケットを
身に着ける

海のもしものは
118番

海には
2人以上で!

電話を
防水パックに!

風が強い日
波が高い日は
泳がない

子どもから
目を離さない

子どもは
大人と一緒に

奄美海上保安部 ・ (公財) 海上保安協会奄美支部

奄美出身の大学生3名でデザインを考えました！
観光客の皆さんの海中での事故が多い現状です。自分を守る、大切な人を守る、せっかくなってきた観光客の皆さんにとって、奄美の海が危険なものになってほしくないという思いで、今回の海難防止啓発グッズを作成しました。
どうかご安全に、奄美での素敵な時間を過ごしてください。

R4年度大島高校生 上野 凛 ・ 伊藤 みそら ・ 松下 風香



奄美海上保安部 古仁屋海上保安署